

第七回

神在月シンポジウム

2005

新時代の健康を考える

2005年

と き 10月22日(土) 15:00~18:00

ところ ビッグハート出雲2階 黒のスタジオ
出雲市今市町994-2 TEL(0853)20-2888

八百万の神々が出雲に集う神在月にあわせて、医学者・科学者をお招きしてお話いただく会です。

医療技術が日々進歩し、医学生物学研究が着実にその歩を進めている一方で、私たちは少子高齢化の中にあり、保健・医療の分野では生活習慣病・がんなどの問題が関心を集めています。

今年のテーマは「新時代の健康を考える」で、三人の講師による医療・健康・科学に関するお話をさせていただきます。皆様の快適な生活、健康の維持にお役立ていただければ幸いです。

どうかお誘いあわせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

■あいさつ 原田孝之 (実行委員会)

■講演「発がんを考える —山極勝三郎人工発がん90周年—」

順天堂大学医学部病理学 教授
樋野 興夫 先生

■講演「上手な健康増進の考え方」

広島大学大学院分子内科学 教授・広島大学病院 副病院長
河野 修興 先生

■講演「診てもらいたい医者、診てあげたい患者 ~医療のあり方を考える~」

秋田県総合保健センター長・秋田大学名誉教授
加藤 哲郎 先生

■パネルディスカッション

司会 井川幹夫 (実行委員会)

■おわりに 平田彰業 (実行委員会)

入場無料

[演者紹介]

樋野 興夫 氏

1954年生まれ 出雲市大社町出身

愛媛大学医学部卒業。遺伝性腎がんの病因遺伝子の発見と、その機能解析をはじめ、発癌の分野でつぎつぎと新しい知見を発表。研究とがん哲学を車の両輪に、変革のなかに変わらぬ真実を求めて研究に、社会貢献にいそんでいる。アスベスト発癌の研究も進んでいる。

現在、順天堂大学医学部病理学教授、島根県から委嘱された「遣島使」。

河野 修興 氏

1952年生まれ 愛媛県出身（本籍 広島市）

広島市立袋町小学校、松山市立三津浜小学校、愛光学園、広島大学医学部卒業。呼吸器内科学を専門としているが、総合内科的視野に基づいた呼吸器疾患の診療を心がける一方、疾患の病因となる分子を見つけて、診断や診療の役に立つ物質を検索する研究を行っている。石綿肺や薬剤性肺炎などの間質性肺炎・肺線維症で血液中に増加するマーカーであるKL-6は1984年に発見したもので、現在では我が国の医療保険で認可され、多くの患者さんの診断や治療になくてはならないものになっている。

現在、広島大学大学院分子内科学（旧内科学第二）教授、広島大学病院副院長。広島市安佐北区安佐町飯室御鎮座（旧飯室村村社）土井泉神社 宮司。

加藤 哲郎 氏

1937年生まれ 宮城県出身

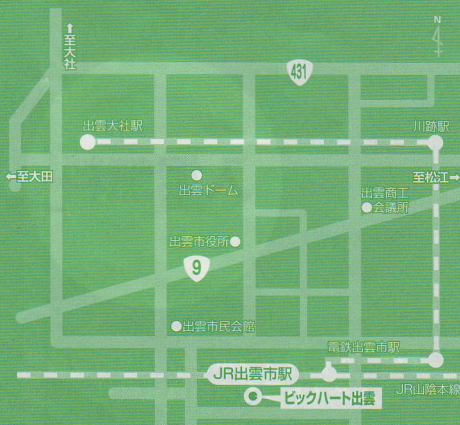
仙台第一高等学校をへて、東北大学医学部卒業。東北大学で泌尿器科を専攻し、1971年より秋田大学で助教授、教授職を務めた。

前立腺がんなどの泌尿器科腫瘍学を専門とし、マイクロカプセル化学塞栓療法の開発でがん化学療法に新しい分野を開拓する傍ら、後進の育成に力を注ぎ、腎移植の普及にも努めた。2003年に秋田大学を定年退官し、保健業務と実地医療にたずさわっている。

現在、秋田県総合保健センター長、秋田大学名誉教授。

実行委員会

- 原田 孝之（代表 島根大学医学部病理学 教授）
- 井川 幹夫（島根大学医学部泌尿器科学 教授 副病院長）
- 平田 彰業（島根県立中央病院 医療局長）



ビッグハート出雲2階 黒のスタジオ
出雲市今市町994-2 TEL(0853)20-2888

※車でお越しの方は、市営駐車場に駐車し、駐車券を会場にお持ちください。
無料の手続きをいたします。

Kamiarizuki
Symposium

第七回

神在月シンポジウム

新時代の健康を考える

お問合せ

島根大学医学部病理学教室
原田孝之

〒693-8501

出雲市塩冶町89-1

TEL (0853)20-2144

FAX (0853)20-2140